

や す ち ょ う 八頭町 議会だより



コロナに負けません!!
フルーツ観光園頑張ってます。

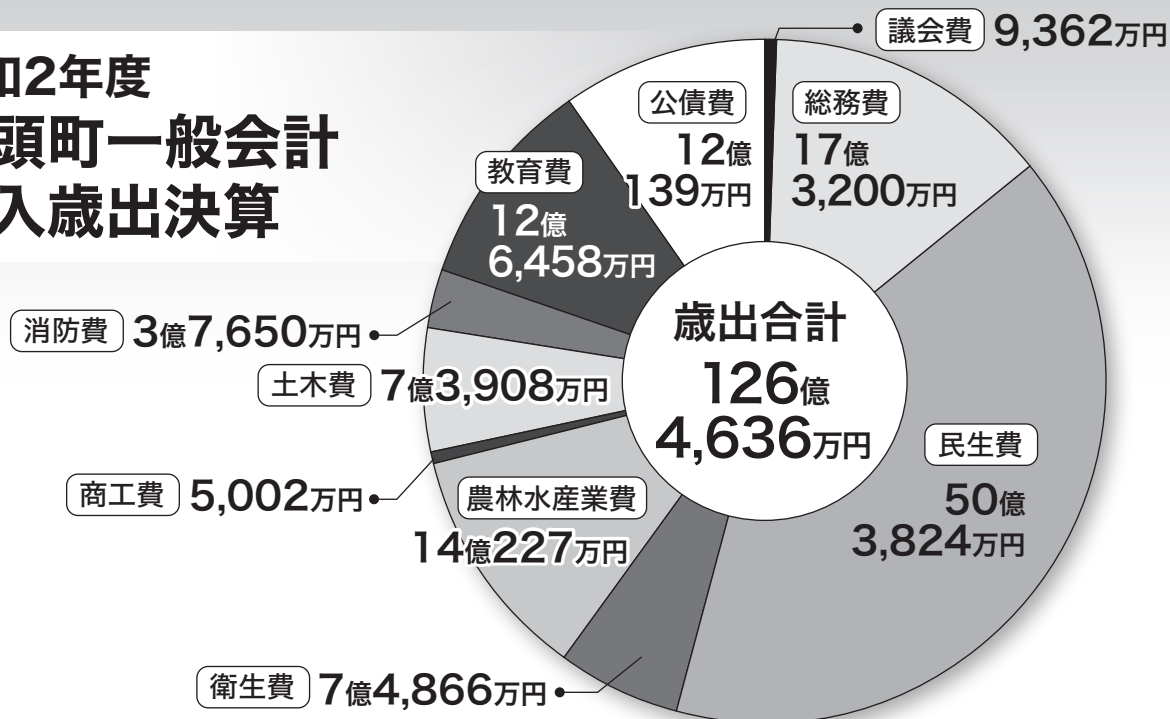


第67号

鳥取県八頭町議会
令和3年11月発行

■ 9月定例会	2
■ 議案等議決結果	8
■ 一般質問	11

令和2年度 八頭町一般会計 歳入歳出決算



ふるさと納税に掛かる経費

5,250万円

ふるさと納税者に対するお礼として特産品等を贈呈し、ふるさと納税の動機付けと促進を図ることができ、リピーターも増加した。

担当:企画課 ☎76-0212

サテライトオフィス整備工事等

3,176万円

隼L a b.にユニットハウス式の事業所を整備し、サテライトオフィス等の「新しい働き方」の推進した。

担当:企画課 ☎76-0212

小学校コンピューター経費

9,527万円

国のGIGAスクール構想による1人1台のICT機器の配置と、高速大容量通信の環境整備を行い、児童のICT環境改善した。

担当:教育委員会 ☎84-1231

中学校コンピューター経費

4,667万円

GIGAスクール構想事業により、1人1台タブレットPCの配備と充電保管庫の設置、高速大容量通信設備整備を行い、生徒のICT環境整備を行った。

担当:教育委員会 ☎84-1231

小学校校舎トイレ改修工事

1億3,775万円

校舎トイレ整備事業により、町内小学校(郡家東小・船岡小)の校舎トイレを整備し(洋式化・多目的トイレ設置)、校内の衛生環境を改善した。

担当:教育委員会 ☎84-1231

中学校舎トイレ改修工事費

7,094万円

校舎トイレ改修事業(洋式化)について整備を行い、校内の衛生環境を改善した。

担当:教育委員会 ☎84-1231

9月 定例会

9月2日～9月17日

令和3年
第6回

9月定例会は2日から17日まで16日間の会期で開きました。

八頭町健全化判断比率及び資金不足比率報告1件、八頭町財産区管理委員の選任34件、条例の廃止1件、条例の一部改正4件、令和2年度各会計の決算認定15件、補正予算7件、追加議案1件、追加補正予算2件、を含む64議案が提案され、原案通り可決しました。

126億円はこのような使われた

令和2年度一般会計歳出決算額126億4,637万円

14特別会計歳出決算額59億2,285万円

令和2年度一般会計決算認定 ここに注目！

特別定額給付金事業

16億8,307万円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、住民基本台帳に記録されている者を給付対象者として世帯主に対して、世帯員構成員1人につき10万円を給付した。

担当：総務課 ☎76-0201

『八頭町「新しい生活様式」応援キャンペーン』

実施事業委託料 2,014万円

世帯ごとに5千円分(うち2千円分は飲食・宿泊限定)の割引クーポンを配布し、町内店舗での消費喚起・拡大を図った。

参加事業者数 102事業者 実施結果 換金率55.2%

担当：産業観光課 ☎76-0208

インフルエンザ予防接種 (コロナ対策)委託料

877万円

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を原因とした医療機関の逼迫を防ぐため、インフルエンザ予防接種の個人負担額を無料とした。

担当：保険課 ☎72-0144

商品券発行事業委託料

1億7,923万円

全住民に1万円分(うち5千円分は中小店舗限定)の商品券を配布し、町内店舗での消費喚起・拡大を図った。

参加事業者数 145事業者 実施結果 換金率98.3%

担当：産業観光課 ☎76-0208

事業継続奨励金

4,080万円

コロナ禍で売り上げ等に影響を受けた町内事業者を支援し、町内産業や雇用の維持を図った。

交付者数 349事業者

担当：産業観光課 ☎76-0208

飲食宿泊事業継続奨励金

870万円

コロナ禍の影響で売り上げが20%以上減少した飲食・宿泊事業者に対して奨励金を交付し、町内における事業継続を支援した。

交付件数 26件

担当：産業観光課 ☎76-0208

令和3年度 第5号 一般会計補正予算の主な事業

柿梨等霜被害総合対策事業

3,138万円

柿梨等霜被害総合対策事業の実施に係る防霜ファン、防霜散水施設、気象モニタリングシステムの導入経費の補正。



霜の被害を受けた梨

担当：産業観光課 ☎76-0208

船岡トレーニングセンター 管理費

14,644万円

施設維持管理に関わる関係経費並びに7月豪雨により被害を受けた法面の復旧に係る経費の補正。



船岡トレーニングセンター

担当：教育委員会 ☎84-1231

商工振興総務費

6,813万円

頑張る事業応援補助金の支給見込み増にかかわる関係経費の補正。

担当：産業観光課 ☎76-0208

郡家球場管理費

937万円

7月豪雨により被害を受けた郡家球場の復旧に係る経費の補正。

担当：教育委員会 ☎84-1231

討 論

反対討論 岡嶋 正広 議員

本議案に過疎地域の支援に関する法を適用した予算が含まれている。
地域住民に計画内容を説明し、意見等お聞かせいただいた上での実行でもよいのでは。
法に基づく計画の内容説明のない段階での予算計上には賛同できない。

賛成討論 森 亜紀子 議員

先ほど可決された過疎計画、計画と予算が同時に出ることは疑問。納得できない内容もあるが、柿・梨の霜被害の予算、豪雨による農業被害の経費など補正予算も組まれている。
住民生活に影響する予算が多いと判断する。

議員発議

◆発議10号（否決）

八頭町議会議長の不信任決議

提出者 小原 徹也 議員

賛成者 森 亜紀子 議員

賛成者 川西 聡 議員

（提案理由）

就任から8月9日までの職務怠慢による事実と議事進行での誤った口述、議員のコロナ感染対応に議長として職務を全うできるか疑問だ。直ちに議長を辞職されるべきだ。

よって発議する。

反対討論 灘口 茂郎 議員

6月定例会より2回続けての不信任決議だ。議長の不信任は重大なものであり、このような理由で連発することは、議会の権威を失墜させるものになると言わざるを得ない。よって不信任決議に反対する。

賛成討論 森 亜紀子 議員

飲食の件で住民の方が疑念を持たれたこと、軽率であったと反省し信頼回復に努めるべき。

本会議では言葉に責任が伴う。自治法を大事にしていきたい。

また申し入れに対する3行の回答も誠意ある対応と言えない。

反対討論 緒方 陽紀 議員

コロナ禍に備えたマニュアル作成を常識とするならば、なぜ昨年の段階で作成されていないのか。これは、マニュアル作成等を怠った全議員の責任だと考える。よって、不信任決議に反対とする。

賛成討論 岡嶋 正広 議員

議員がコロナに感染と新聞報道にもかかわらず感染防止対策会議は開かれず右往左往。危機管理能力の欠如。

定例会後議員仲間と市内で懇親会。町民からの指摘に反省なく開き直る姿勢。議長としてふさわしくない。

反対討論 山根張太郎 議員

コロナ感染症は、世界はもとより国内においても未曾有の国難といわれる状況下で初めての体験。

議長は町民の安心、安全を守るため、議会運営マニュアル作成など率先して対策に取り組んでおり、原案に反対する。

賛成討論 川西 聡 議員

6月定例会後の議員懇親会開催には、多くの町民の非難がある。

議会議員のウィルス感染での議会対応が基本条例通りではない。9月定例会本会議場の傍聴中止は変更したが、初日の中止は住民の傍聴する権利を抑圧。

反対討論 川西美恵子 議員

鳥取県の新規陽性者はゼロが続き、Go To Eatキャンペーンも実施されていた。私的な数名での会食をもつて議長不信任の理由とならない。議会傍聴について、総務省は合法・違法は判断しかねるとの返事だった。

反対討論 尾島 勲 議員

議長が誰であろうとも、議長不信任で今回の発議内容が解決するものではない。害虫駆除思想は、物事を解決に導くものではない。一議員として協力体制をとる事が、今行わねばならない最優先の思考・行動だ。

◆発議第11号（可決）

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出

その他の議案

八頭町財産区管理委員の選任（敬称略）

◆議案第81号～第87号（可決）

（上私都財産区）坂本 登、山本勝治、勝原 正、入江清人、西尾寿秋、田中英行、平尾英樹

◆議案第88号～第94号（可決）

（市場・覚王寺財産区）河村 敏、森本忠司、手見野大樹、山口逸郎、熊澤清美、山本美智雄、山本幸男

◆議案第95号～第101号（可決）

（上津黒・下津黒財産区）衣笠春壽、田渕宜彰、衣笠明仁、田中利生、田中 正、井上寿光、田村雅則

◆議案第102号～第108号（可決）

（別府財産区）平尾 登、土井英揮、土井國光、野田 稔、平尾健男、平尾厚志、中村考志

◆議案第109号～第114号（可決）

（別府財産区）今井光秋、宮崎 寛、西尾則明、宮崎貴徳、上田忠雄、岡 芳継

◇議案第115号（可決）

八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結

令和2年度事業費のうち、令和3年9月30日としていた令和2年度内に終了しなかったものについての工期を、令和4年3月31日とするもの。

反対討論 小原 徹也 議員

事業費9億8千万円。設計調査6,540万円、見積りは、プロ中のプロ専門業者が積算した金額だ。仮に、増額1億・2億となり。排水管が、私都川の底より、半分以上埋まる工事にしたのか。最適な方法を選択すべきだ。

反対討論 森 亜紀子 議員

議案は工期の延長のみだが、掘進機の導入や設計変更があれば増工費用がかかることは想定される。根拠が必要。7月の豪雨の浸水状況の説明もあり、喫緊の課題だが、設計変更の内容、工程、積算など不明な点がある。

賛成討論 川西美恵子 議員

委員長報告は、原案可決だった。そこで十分議論されて、原案可決となったものと私は判断する。産

業福祉常任委員会の判断を尊重したいと思うし、工期の延長のみの議案で残り2週間しかない。この議案に賛成する。



公共下水道竹ノ下排水区
雨水幹線工事現場(郡家保健センター前)

◇議案第116号（可決）

八頭町過疎地域持続的発展計画

4月から新たに船岡地域が過疎地域に追加指定されたことから、令和3年度から令和7年度までの5年間の「八頭町過疎地域持続的発展計画」を定めるもの。

反対討論 岡嶋 正広 議員

コロナ禍に於いてパブリックコメント及びアンケート調査、町報による意見アイデア募集等多様な意見をお聞きしながら計画の内容を整理し、まとめていただきたかった。内容についての説明なく唐突な提案に反対する。

賛成討論 矢部 啓祐 議員

いずれかのタイミングで議会にも中間報告があってもよかったと思うが、町長が善処されると言われた点、過疎債を利用した方が町財政の負担も軽減され、町民にとって有益である点などを考慮し、賛成する。

反対討論 小原 徹也 議員

計画のきちんとした説明が不足している。国際交流は、韓国等とあるが、過去に、相互交流で国際上の理由で本町に來なかつた。台湾は相互交流を望んでいる。ならば、前向きな交流ができる相手と行うべきだ。

賛成討論 中村 美鈴 議員

この度、旧船岡町地域が過疎に指定された。その説明の期間がなかなか取れなかつたようだが、活性化という意味では移住・定住や観光面でも、本町全体が活性化につながり、有益と考える。よつて賛成する。

反対討論 森 亜紀子 議員

6月に船岡地域説明会を開催、区長が集落要望を取りまとめたとの報告があつた。広く意見を求めるべきではなかつたか。

子育て世代や女性の意見と、竹林整備や野生鳥獣、特に猿対策のことなど課題を盛り込むべき。

賛成討論 川西美恵子 議員

この計画は、総合計画及び総合戦略に計画をされている八東地域、船岡地域の計画や集落要望の内容も含まれている。さらに専門委員会でも協議をされており、本町の発展に寄与すると考えるので賛成する。

◇議案第117号（可決）

低開発地域工業開発地区における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止

◇議案第118号（可決）

過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

◇議案第119号（可決）

八頭町手数料徴収条例の一部改正

◇議案第120号（可決）

八頭町個人情報保護条例の一部改正

◇議案第121号（可決）

八頭町営住宅条例の一部改正

◇議案第144号（可決）

町営住宅東郡家団地改修（建築主体）
工事請負契約の締結

○契約金額

6,861万8,000円

○契約の相手

東洋建設・ナカタ工産特定建設
工事共同企業体

代表者 東洋建設株式会社

代表取締役 森木 悟

工期 令和3年9月17日から

令和4年3月15日まで

令和3年

第5回臨時議会

7月30日

契
約

◇議案第77号（可決）

本谷トンネル補修工事（その3）
請負変更契約の締結

○契約金額

5,028万5,400円
（117万400円増額）

○契約の相手

中田組・八田建設特定建設工事

共同企業体

代表者 有限会社中田組

代表取締役 中田 秋満

工期 令和3年4月30日から

令和3年9月30日まで

賛成討論

岡嶋 正広 議員

この工事は特殊性がある。町内
業者の育成、技術の向上などを考
え町内業者と契約締結することに
賛成する。



補修中の本谷トンネル（大江・志子部間）

条
例

◇議案第78号（可決）

八頭町の町長及び副町長の給与の
特例に関する条例制定

町県民税等の賦課額の誤りの責
任者として給与の減額措置を講じ
る条例。

8月1～31日の期間

町長の給料月額

100分の10の減額

副町長の給料月額

100分の5の減額

質疑

金額の根拠は。

答弁

吉田町長

他町村等の例、全国状況で判
断した。

◇議案第79号（可決）

八頭町障害者等医療費助成条例の
一部改正

国民年金法等の一部改正する法
律の施行に伴い基準額を改定する
もの。

補
正
予
算

◇議案第80号（可決）

令和3年八頭町一般会計補正予算
（第4号）

歳入歳出の予算にそれぞれ15
0,000千円追加し総額120億
1,443千円とした。

【主な歳出】

7月豪雨による被害の復旧費。

○農地農業用施設災害復旧費

45,900千円

○林道施設災害復旧費

57,100千円

○公共土木施設災害復旧費

34,300千円

報
告

○産業福祉常任委員会委員長の交代

令和3年6月15日

山根張太郎 委員長 辞任

緒方 陽紀 委員長 就任

令和3年7月19日

緒方 陽紀 委員長 辞任

岡嶋 正広 委員長 就任

○議会運営委員会委員の交代

令和3年6月18日

山根張太郎 委員 辞任

緒方 陽紀 委員 就任

令和3年7月19日

緒方 陽紀 委員 辞任

岡嶋 正広 委員 就任

議案等議決結果

(第5回臨時会・第6回定例会)

議案等番号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	森 亜紀子	山根 張太郎	中村 美鈴	尾島 勲	矢部 啓祐	灘口 茂郎	岡嶋 正広	栄田 秀之	川西 聡	小原 徹也	川西 美恵子	緒方 陽紀	奥田の ふよ	
第5回臨時会															
77	本谷トンネル補修工事(その3)請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78	八頭町の町長及び副町長の給与の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79	八頭町障害者等医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
80	令和3年度八頭町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6回定例会															
81~87	八頭町財産区管理委員の選任(上私都財産区)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
88~94	八頭町財産区管理委員の選任(市場・覚王寺)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
95~101	八頭町財産区管理委員の選任(上津黒・下津黒)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
102~108	八頭町財産区管理委員の選任(別府)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
109~114	八頭町財産区管理委員の選任(篠波)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
115	八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	可決
116	八頭町過疎地域持続的発展計画	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	可決
117	低開発地域工業開発地区における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
118	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
119	八頭町手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
120	八頭町個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
121	八頭町営住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
122	令和3年度八頭町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	可決
123	令和3年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
124	令和3年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
125	令和3年度八頭町住宅資金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
126	令和3年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
	件名	森 亜紀子	山根 張太郎	中村 美鈴	尾島 勲	矢部 啓祐	灘口 茂郎	岡嶋 正広	栄田 秀之	川西 聡	小原 徹也	川西 美恵子	緒方 陽紀	奥田 のぶよ	
127	令和3年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
128	令和3年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
129	令和2年度八頭町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	認定
130	令和2年度八頭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
131	令和2年度八頭町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
132	令和2年度八頭町住宅資金特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
133	令和2年度八頭町公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
134	令和2年度八頭町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
135	令和2年度八頭町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
136	令和2年度八頭町宅地造成特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
137	令和2年度八頭町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
138	令和2年度八頭町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
139	令和2年度八頭町上私都財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
140	令和2年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
141	令和2年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
142	令和2年度八頭町篠波財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
143	令和2年度八頭町大江財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	認定
144	町営住宅東郡家団地改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
145	令和3年度八頭町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
146	令和3年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情6	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	不採択
陳情7	新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	不採択
発議10	八頭町議会議長の不信任決議	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	否決
発議11	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」で記載。議案及び陳情の採決は、前田議長を除く13人で行う。

陳情の審査

件 名	提 出 者	審査結果	理 由
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従 他1名	不採択	国防等の安全保障・外交に関することは、国の専権事項であり、地方議会による意見提出は馴染まない。
新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 代表者 今本 潔	不採択	政府は飲食業などへの支援を行っており、米の買い上げではなく、米の需要を伸ばす施策を行うべきである。

ここが聞きたい

一般質問

13人が
一般質問
しました

質問者	質問事項	頁
矢部	「放置空き家」等の取り組み	11
	新しい生活様式への取り組みを「地方移住」の観点から問う	
尾島	SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み	12
	通学路の交通安全対策	
小原	行政運営における執行部と議員の関わり方と情報公開及び、AI(人工知能)の可能性	13
岡嶋	人権教育・啓発	14
	町営バス及びスクールバスの効率的な運行	
川西美	子育て支援	15
	公共施設の在り方	
奥田	「明日を創る5つのビジョン」	16
	妊娠、出産、産後の支援	

質問者	質問事項	頁
森	新型コロナウイルス蔓延防止策	17
	情報発信	
川西聡	学校給食無償化の実施	18
	生活保護制度の扶養照会に関する行政対応	
灘口	飲食業の支援	19
	記録的大雨の際の避難所の現状	
緒方	健康づくり拠点施設	20
	地域資源の活用	
中村	防災・減災	21
栄田	令和2年度決算	22
	マイナンバーカード推進状況及び コンビニ証明書交付利用状況	
山根	東郡家地区の活性化	23



矢部 啓祐 議員

空き家問題

空き家の撤去・解体の補助率の引き上げは

町長/ **すぐとはいかないが、状況を見極めたい**

【質問】

空き家問題は全国的に深刻な問題となっている。
①「八頭町空き家等の適正管理に関する条例」施行後の実績と現状は。
②①からの課題と今後の取り組みは。

【答弁】

吉田町長

①昨年度までの6年間に26軒の家屋の解体、撤去をしていた。指導、勧告等をし、撤去までに数年かかるのが現状だ。
②様々な要因で放置空き家になってしまうこと、状態がよい空き家であっても利活用が出来ないのが課題。「広報やす」で空き家特集を組み、空き家バンクへの登録をお願いしている。
今年度、特定空き家と認定された家屋の撤去費用の補助額の上限を100万円に引き上げた。

【質問】

補助額の上限を上げるだけでなく、補助率も4/5等に引き上げられないか。

【答弁】

吉田町長

すぐにはならないと思うが、状況を見極めたい。

【質問】

更地にしても固定資産税が上がらない条例の制定は。

【答弁】

吉田町長

町で出来ると承知しているが、課題がある。



▲ 八頭町移住定住センター(隼Lab.内)

移住定住

「よるずの空き家相談窓口」を設置しては

町長/民間や空き家利活用推進協議会とも話をしたい

【質問】

多くの人が地方移住を現実味のある選択肢としている。本町の新しい生活様式の受け皿としてどう取り組むのか。

【答弁】

吉田町長

①空き家バンクの登録件数の推移と取組状況は。
②移住者の増加政策への課題と今後の展望は。

【質問】

家の問題を一つずつ解決することは時間と労力がかかる。「よるずの空き家相談窓口」を設置してみたい。

【答弁】

吉田町長

専門的なことは行政では限度がある。民間や利活用推進協議会とも話をしたい。

【質問】

移住者を受け入れる際に集落の区長等と事前に面談をする仕組みを作っては。

【答弁】

吉田町長

スムーズに集落に溶け込めるよう行政職員も一緒になって仲介する必要がある。地域の活性化にもなるので、矢部議員にも側面的に力をお借りしたい。



尾島 勲 議員

SDGS

現在の取組み状況・今後の実施方法は

町長/SDGsにどう繋がるか意識しながら進める

質問 本町の現在の取り組み状況、今後の活用方法・実施方法は。

答弁 吉田町長

タイトルを「八頭みらいへ繋ぐSDGs」として、6月より新聞に連載記事を掲載している。

環境的な取組みでは企業と連携し、今春「ふるさとの森応援プロジェクト」を立ち上げ、50年、100年先の子供たちに豊かな自然を残し、自然と共存し持続可能な取組みにより、SDGsを目指す。

様々な事業に取組むに当たり、SDGsの17の開発目標にどう繋がるかを意識しながら進めることが重要だ。

答弁 藪田教育長

以前に行っていた環境学習や人権学習などを、SDGsの視点を取り入れることで、同じ学習内容でも学びが変わると感じている。人権問題や環境問題を中心に、持続可能な開発目標

(SDGs)を意識した学習が発達段階に応じて行われており、今後も取組みたい。

質問

総務省のSDGs未来都市の認定を目指し、持続可能なまちづくり戦略・まちづくり施策に取組んでは。

答弁 吉田町長

取組む気持ちは十分ある。何を主軸にするかがポイントで、ハードルは高いが宣言に向かってみたい。

質問

小中学校にSDGs委員会を立ち上げては。

答弁 藪田教育長

SDGsを推進していくにはそう言う取組みも必要だ。新しい学習指導要領に、社会・理科・技術家庭など具体的に教えるところあり、今後さらに取組みが進むと思う。

交通安全

通学路の対策は

町長/関係機関が連携し早急に対応する

質問

6月、千葉県内で下校中の小学生の列に飲酒運転の車が突っ込む痛ましい事故(事件)が発生した。

この事故(事件)を受け、本町の交通安全対策を伺う。

答弁 藪田教育長

今年度学校から報告のあった危険箇所18か所につ

いて「通学路安全推進会議」を開催し、安全対策の検討・対策を進めている。

関係機関と連携し、対応できるものは早急に行い、児童生徒が安心して通学できるよう、安全確保に努める。

※その他の質問

令和4年度予算編成について



▲ 歩道の無い通学路(花原地内)



小原 徹也 議員

AI情報公開と

AI活用には情報開示が適切に行われるべきだが

町長/ AIで取り組む事案もあろうかと思う



▲ 八頭町スクールバス

質問

情報公開の観点から、スクールバス事故損害賠償の訴訟費用について、原告の弁護士費用を八頭町が幾ら支払ったのか、本町の弁護士費用は幾ら支払ったのか、説明を求めたい。

答弁

吉田町長

原告側の訴訟費用だが、訴訟費用については支払いしていない。被告弁護士には、着手金44万円と、報酬金44万円を支払った。

質問

地方議会を巡る課題として、二元代表制の理念からいつて議員は、住民から直接選ばれる首長と、対等の関係であるべきだが。

答弁

吉田町長

町は執行機関として、議会は議事機関としてそれぞれ役割を果たし、緊張感を保ちながら、地方自治の適切な運営をする。

質問

今、議会の存続意義が問われている。議会の必要性を町長は、どのように考えるのか。

答弁

吉田町長

町の意思決定機関としての使命、町の代表であり、地方議会の果たすべき責務は極めて重大である。その必要性も重要だと認識している。

質問

地方議会におけるAI（人工知能）活用の可能性として、現在の地方議会は、

議会本来の機能を果たせていないと言われても致し方ない面がある。具体的に、

- (1) 執行機関を監視する。
- (2) 執行機関の提出する議案に対して議決を行う。
- (3) 自ら条例を立案すること。
- (4) 議会や、委員会での議論に軌道修正する。
- (5) 意見や要望を吸い上げて、意見・要望・質疑・政策提案等の形で執行機関に届ける事だ。

これら5つの機能は、AIを活用することで強化できると思うが。

答弁

吉田町長

AIで取り組む事案もあろうかと思うし、私ども人間なので、感情、感性、そういった部分での判断もあるという事だ。

が適切に行われないと、いくらAIでも判断できない。言い換えれば、議員においても情報開示がされなければ、執行部の考えは伝わらないのでは。

質問

AIとは、情報を蓄積したものをその場にに応じて、適切に判断するものだと思う。だとすれば、情報開示

答弁

吉田町長

人口減少や少子高齢化による社会構造の変化、労働力の減少に起因する2040年問題は今後の大きな課題の一つである。新たな自治体行政の考えとして、スマート自治体への転換等が示されている。



岡嶋 正広 議員

人権教育・啓発

取り組み姿勢は

町長/あらゆる差別の解消に向けた取り組みを進める

答弁 吉田町長

①これまで積み上げた成果等を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け取り組を進めている。

②差別の解消に向け本町協議会との連携は大切だ。一緒になつて取組んでいる。

③発達段階に応じながら学習することで効果が上がる。人権が尊重され明るい社会が実現できるよう取組む。

④イベントの周知と気軽に人権相談ができる体制づく

質問

①町の取組姿勢が弱まっているように感じるが。

②町行政と部落解放同盟八頭町協議会との連携が取れていないように感じるが。

③学校教育で同和問題に関する学習はほとんどされていない中で問題解決に向けた町の将来像は。

④人権啓発センターの取組の周知と利用の拡充は。

⑤やずっ子学習会は、担当者まかせではなく職員、学校、保護者等全体で関わるべきでは。



▲ 人権啓発センター主催の人権問題講座の様子

りを進めることで利用拡大につなげたい。

⑤先生や地域の方々との連携を図りながら学習会等に取り組んでいる。関係者が一丸となつて取組む必要がある。

答弁 吉田町長

既に町営バス路線の一部を通学に利用している区間もある。町民にスクールバスに乗っていただくことになると乗車人数、料金の充当の課題もある。

現状では、町営バスがスクールバスの一部を補充する形が望ましいと考える。

答弁 藪田教育長

不特定多数の乗客と同乗すること不審者や犯罪に

質問

スクールバスと町営バス重複して走る区間がある。効率のよい運行を考えると例えばスクールバスを町営バスルートで運行する。反対に町営バスを学校前経由として走らせるということとは考えられないか。

スクールバスと町営バス

効率のよい運行は
町長/町営バスがスクールバスを補充する形が望ましい

出会う可能性がある。学校時間と運行ダイヤの調整等課題がある。

質問

児童・生徒数が減少している現状等、通学距離1km以上の小・中学生のスクールバス利用はできないか。

答弁 藪田教育長

バスの増便が必要となり台数も検討しなければならぬ。運転手が不足している現状で難しい提案である。

答弁 藪田教育長

児童・生徒数の減り方は穏やかである。当面は現行の基準でお願いしたい。



川西美恵子 議員

魅力ある保育

完全給食実施と雨天に親子で遊べる施設整備を

効果や影響を見極め 町長/ 検討する

質問

保育所では、3歳未満児は御飯とおかずと一緒に給食として出しているが、3

歳以上児は、御飯は家から持っていかなければならない。温かい御飯が食べられないし、夏は腐る心配があるという声が多く、保護者からあった。「本町の保育所は完全給食だよ」というのも一つの子育て支援のPRにもつながるので、完全給食の実施を行ってはどうか。

答弁

吉田町長

調理器具の整備、配膳スペースの確保や調理師など新たな人員配置が必要だ。すでに離乳食やアレルギー食の提供などに対応しており、難しい状況だ。

質問

鳥取県内の保育所では、スポーツや音楽を生かしたリトミック教室、英語教室など、多様な保育活動を取り入れている保育所もあり、保護者からも大変喜ばれている。

本町でも、魅力ある保育活動の一環として、音楽や英語などの保育活動を取り入れてはどうか。

答弁

吉田町長

特色のある保育は非常に大事だ。効果や影響を見極める必要があり、これからの検討課題だ。

質問

総合計画や総合戦略でも計画されている雨天でも親子で遊べる屋内施設の整備についての進捗状況は。当面、隼Lab.の体育館を活用してはどうか。

答弁

吉田町長

複合的な施設の整備を行うなどにも視野に入れながら検討している。旧隼小学校の体育館も対応でき、管理会社シーセブンハヤブサと改めて協議する。

空き施設の活用

旧八東・丹比小学校の活用を

町長/ 地元の方々と協議する

質問

平成27年12月に八頭町公共施設白書が作成されているが活用されていない施設の数と施設名称は。

一部の空き施設については、陳情や要望書も提出された経過もあるようだが、この取扱いについてどのように考えるか。

旧小学校については、地域の皆さんにとって心の支えみたいなどころもある中で、地域の中でそれらの施設をどうしていくかということと話し合う協議会の設置が必要だと考えるが、町長の考えは。

答弁

吉田町長

未活用の施設は7施設で、旧八東小学校、旧丹比小学校、旧大江小学校プール、



▲ 空き施設となっている旧八東小学校

旧八東保育所、旧丹比保育所などだ。活用の要望等をいただいている施設については、地域の皆さんに方向性を出していただくのは非常に大事だと思う。地域協議会の設置を検討したい。



奥田のぶよ 議員

明日を創る 5つのビジョン

実績として評価できるものは

町長/ **評価は私が判断するものではない**



▲ 地方創生事業で整備された賑わいのある拠点施設「隼Lab.」

質問

①この7年間を振り返って特に力を入れてきたものの、実績として評価できるもの、課題等は。

答弁

吉田町長

5つの保育所に統合し、保育環境の整備を行った。第2子以降保育料無償化等多様な子育て支援を推進している。

12地区にまちづくり委員会を立ち上げ、残り2地区も設立に向けて協議している。

「農業ビジョン」、「森林林業ビジョン」を策定し取組みを進めている。

郡家駅にぶらっとびあやずができてにぎわいの創設に取り組んでいる。

若桜鉄道の観光列車化、八東駅行き違い施設を整備し利便性の向上を図った。

小中学校の再編と教育環境の整備を行い、教育ICT環境の整備も推進した。

旧隼小学校を活用した隼Lab.は、ビジネスと地域コミュニティとの融合施設となっている。

主な取組みについて一定の成果はあったと推察するが評価は私が判断するものではない。これからの時代に対応するまちづくりを進めていく必要がある。

質問

若桜鉄道の生き残りをかけた施策は。

答弁

吉田町長

地域の方が乗車する取組みの検討も必要だ。

産前産後の 支援事業

人的配置や体制づくりが必要では

町長/十分対応できている

質問

平成30年12月に公布された「成育基本法」における本町の状況は。

答弁

吉田町長

妊娠期から切れ目ない支援を行う為、妊娠届時に全ての妊婦方と面談し、生活状況や不安等の把握を行っている。支援が必要な場合は医療、保健福祉の支援を関係機関が連携し、安心して妊娠、出産を迎えられる環境づくりに努めている。

育児を必要とする母子に対しては産後ケア事業を実施している。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を継続している。

質問

本町の産後ケアの実績は。

答弁

吉田町長

令和2年度、デイケアは3件で延べ18件。母子のショートステイは2件で24件だ。

質問

就労している女性も増えてきた。結婚して妊娠するという大事なところに寄り添う人的配置や体制づくりが必要だと思うが。

答弁

吉田町長

相談等の取組みはしている。現状の人員体制で十分対応できている。

※その他の質問

人権学習会の実施について



森 亜紀子 議員

新型コロナウイルス対策

感染情報の公開は

陽性者の公表は町役割ではない

町長/

- 質問**
- ① 対策本部が令和3年4月に設置。現在の状況は。
 - ② 町内施設等で感染確認された時の対応は。
 - ③ 感染症の情報公開は。
 - ④ 行事の実施基準は。
 - ⑤ コロナ禍でも相手に寄り添い、思いやりを表すシトラスリボンの町長の所見は。
- 答弁** 吉田町長
- ① 4月23日に八頭町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。施設の利用やイベントの中止等を協議し、結果を周知している。
 - ② 2年5月に施設管理方針、本庁舎消毒実施要領等を定めて対応している。早めに対策本部で行動決定していく必要がある。
 - ③ 新型インフルエンザ等対策特別措置法等では、公表は県、保健所の役割と定められており、町の役割ではない。
 - ④ 本町の感染症対策本部で協議・判断・周知している。
 - ⑤ 地域全体で相手を思いやり、支え合う気持ちを忘れないことが非常に大切だ。



▲ ケーブルテレビによる議場中継

質問
行政からの正確な情報発信が必要では。

答弁 吉田町長
コロナの情報は県、保健所等で情報発信されている。

情報発信

ケーブルテレビ加入促進における戦略は

町長/関西ケーブルテレビジョンと一緒に考えたい

- 質問**
- ① 火災発生時のサイレンが9月1日から屋内強制音量中止に至った経緯は。
 - ② HPに情報公開する際、トップページ掲載の基準は。
 - ③ 朝晩の防災無線で情報内容により休日の放送中止は。
 - ④ ケーブルテレビ設置率は。
- 答弁** 吉田町長
- ① 屋内でサイレンの音量を下げて欲しいと要望があり、通常音量にした。避難指示等、緊急時には従来どおりの放送を行う。
 - ② 担当課からの依頼書により行っている。基準は無い。
 - ③ 町としては毎日放送したい。町民の方から放送すべきという意見も多数ある。
 - ④ 令和2年度末で加入率38%だ。

質問
広告掲載要綱に「町の資産への広告掲載は新たに財源を確保し」とある。HPの広告やケーブルテレビのCM放送が財源の確保に繋がるのでは。

答弁 吉田町長
CM放送は可能だと思う。関西ケーブルテレビジョンと事業者の契約になる。

質問
ケーブルテレビの拡大、情報発信の戦略や対策は。

答弁 吉田町長
1軒でも多くの世帯に町の状況等伝えたい。加入促進は関西ケーブルテレビジョンと一緒に考えたい。



川西 聡 議員

学校給食

無償化の実施を

町 長/ かなりの財源が必要だ
教育長/ 食育とは切り離すべき

質問 吉田町長
質問の無償化の理由は、一定の効果がある。学校給食法では経費は保護者負担である。現在、給食費の保護者負担は年間約7,400

質問 文部科学省は、学校給食無償化の全面的な流れを受け、全自治体の調査を実施し平成29年度の実施状況調査の結果を発表した。29年度に無償化を小・中学校で実施中の自治体76、小学校のみは4、中学校のみは2、一部無償化あるいは一部助成は424自治体だ。一部無償化とは、例えば第2子以降、又特定学年等だ。29.1%の自治体が何らかの助成中である。
その理由は子育て支援や定住しやすい環境づくり、食育の推進等である。前回の町長答弁は「学校給食は無償化に値する項目」、教育長は「実現すれば多くの住民が喜ぶ」等だった。再度、町長と教育長の所見を問う。



▲ 今日も給食を子どもに届ける(給食センター)

0万円で(無償化には)毎年だとかかなりの財源が必要だ。今後も他町村や国・県の動向を注視していきたい。
答弁 薮田教育長
無償化の理由の食育は、無償化の問題とは切り離して考える事柄だ。食育は当然行わなければならないが、無償化の課題は無償化として理解をするべきだ。

質問 新型コロナウイルス禍の影響で生活困窮者が増え続ける中、最後のセーフティーネットである生活保護の役割が問われている。一つに「扶養照会」がある。自治体の福祉事務所が保護申請者の親や配偶者だけでなく、兄弟や孫等の親族に対して生活援助の可否を問い合わせるもので、保護の申請を阻む大きな壁となっているものだ。
昨年の9月11日付で、厚生労働省から「現下の状況における適切な保護の実施について」と題して、「法律上認められた保護申請を侵害しないことはもとより、疑われる行為も現に慎むべきだ」との留意点が行き届くよう示された。その中に「扶養が保護の要件である

生活保護 扶養照会

申請者の了解なく
行うべきではないが
町長/申請者に寄り添った
事務を進める

かのごとく説明を行う対応は不適切」との内容がある。扶養照会は人間関係が壊れる場合が多い。保護申請者の了解なく機械的な対応は行うべきではないと思うが。
答弁 吉田町長
本町は、厚生労働省の通知等に基づいて、適切な対応に努めている。扶養照会には保護申請の必須条件ではないので機械的に照会は今していない。
申請者には精神的な支援をして貰える場合がある。寄り添った形で事務を進めていく必要がある。
※その他の質問
見槻川の護岸改修に伴う安全装置(ガードレール)の設置工事を県に要望することについて。



灘口 茂郎 議員

飲食業の支援

「飲食店応援券」の発行はできないか

町長/ 商品券の活用状況を見て今後の対応を考える

質問

深刻な状況となっている飲食店を応援する方法として、町内店舗・町民限定の飲食店応援券の発行はできないか。

答弁 吉田町長

飲食店限定の応援券ではないが、町民の皆様方お一人当たり5千円の商品券発行事業の準備を進めている。飲食店でも使えるので、多くの町民の皆様方にご利用していただきたい。

質問

6月定例会において八頭町版のGoToEatを提案していたが。

答弁 吉田町長

おいでやすということで割引キャンペーンも打っている。

質問

琴浦町では、地域の経済を町民で循環させて活性化を図る、BUYコトウラ運動の取組を始めている。本町でもこのような啓発運動

に取り組み、飲食店や事業者を応援してみては。

答弁 吉田町長

地元の経済の活性化を図るということは非常に大事だ。今回、町内のお店応援商品券ということでの取組も、そういった目的での取り組みだ。



▲ あふれ出る雨水(郡家保育所付近)

避難所の現状

記録的大雨の際の避難所の現状は

町長/ 浸水する恐れのない立地にある施設を選定

質問

過去に経験したことのなような大雨という観点で、チェックが行われているか。

答弁 吉田町長

危険な地域と思われる指定避難所には、あらかじめ避難所用セットを配置している。その他の避難所は、開設時に職員が避難所用セットを持参するようにしている。

質問

密になる場合を想定してのコロナウイルス感染症予防対策は。

答弁 吉田町長

比較的多い指定避難所を準備し、密を避けるように予定している。

質問

乳幼児をお持ちの方の避難所の確保はできないか。

答弁 吉田町長

妊産婦や乳幼児は、避難行動要支援者として部屋を設けるなどできる限りの配慮をするようにしている。

質問

昨今の全国での大雨被害状況を鑑み、本町の被害に対する備えを見直すべきでは。

答弁 吉田町長

県の見直しに合わせて、防災マップの見直しも検討する。

※その他の質問
高齢者の方の心と体のケアについて



緒方 陽紀 議員

地域資源の活用

健康と観光を連携させ 地域資源を活用しては

町長/ 自然を生かした誘客に
取り組みたい

質問

地域資源の活用方法として、新たに健康という要素を加え、ヘルスツーリズムとして、地域資源を発展させることで、他の施設へ新たな角度によるアプローチが可能になる。

本町でも健康と観光を連携させた視点を取り入れ、地域資源の活用尽力すべきだと思うが。

答弁

吉田町長

健康寿命の延伸やアフターコロナの観光戦略の中でそのような視点は非常に大切だと考えている。八東ふるりの森での自然を生かした誘客の取り組みなど、町内でも動きが出ているので、他の施設との連携も含めて、健康の視点も取り入れることにより、より魅力的なものが出るよう働きかけながら、一緒に取り組みたい。

質問

民間企業の参入による八東ふるりの森の取り組みは、事業内容、それまでの背景など、大変理想的だと思う



▲ 豊かな自然に囲まれたサウナ（八東ふるりの森）

答弁

吉田町長

が、今後本町がバックアップ出来るもの、予定しているものはあるか。

施設自体、二十数年になつており、老朽化という部分は否めない。行政として施設の修繕に取り組む必要があると思う。

質問

地域資源の活用のために、行政も柔軟かつ実行力のある組織づくりが必要であると考えているが、現状は何か構想はあるか。

答弁

吉田町長

若手職員のプロジェクトチームを立ち上げている。今現在、具体的な構想ということは、申し上げる内容には至っていない。

健康づくり 拠点施設

設立場所、施設規模等、
検討は進んでいるか

町長/ アンケートを参考に
しながら進めていきたい

質問

第2期八頭町総合戦略の中に公設民営スポーツジムの整備とある。町長に2点伺う。

答弁

吉田町長

①今年度は本町の健康づくり計画、健康やず21のアンケート評価を行う。健康づくりの拠点整備について町民の皆様方の意見を伺い、その結果を参考にしながら、運動を促進するための環境整備を進めていきたい。

②併設についてはハード面、人材などのソフト面など、必要性を検討したい。

①設立場所、設立規模等、検討は進んでいるか。

②気軽に体内の数値を測定できる設備や、栄養士による、年齢、体重など自身にあった食事指導を受けることの出来る「町の保健室」のような機能を併設することで、利用価値が飛躍的に向上すると考えられるが、町長の所見を伺う。

※その他の質問
健康寿命の延伸に向けた取り組みについて。



中村 美鈴 議員

防災・減災

切土の造成区域の調査・点検は

町長/ 現地確認をして検討したい

質問

①急傾斜地崩落対策事業や河川改修・河川掘削、砂防・治山事業などが推進され、整備されているか、現状の進み具合は。また、宅地造成など、町内で推進されているが、その後の水害や土砂災害は、点検・調査・住民への周知は。

②避難行動がなされる中、避難場所の確保や、誰が避難場所の開設をするのか。
③避難行動要支援者の支援体制は。また課題は。

答弁

吉田町長

①河川改修事業3か所、河川掘削6か所、砂防事業9か所、急傾斜地崩落対策事業12か所、治山事業2か所実施しており全ての事業だ。各事業の進捗は、河川改修では整備計画のある八東川、私都川で、八東川の進捗は56・9%、私都川34%で、河川掘削は3か年緊急対策が完了した。
本年度より5か年過疎対策により、新事業着手となっている。砂防事業は27・9%、治山事業は全県の数

値で36%だ。県の基礎調査で、本町もイエロー区域が平成18年3月から、レッド区域が平成24年12月から指定された。対象となった集

落で説明を行い、県ではホームページ、町は行政懇談会などで周知を図っている。水害は、水防法改正を受け、県で洪水予防河川、水位周知河川で浸水想定区域

が取りまとめられた。町内で八東川、私都川が対象だ。
②避難場所とは八頭町防災マップに掲載の45か所だ。危険地域から順次開設する。

③自力で避難が難しい高齢者や障がいのある方などを、避難行動要支援者として登録してもらう。集落区長、民生委員などで要支援者の情報共有をし、日頃の見守り、声かけ運動や防災訓練などに役立てると共に、災害時の安否確認や避難誘導の支援もしている。

課題は、高齢者で介護が必要な方や認知症の方が増加する中、避難行動要支援者の増加が予想される。更にコロナウィルスにより避難の在り方も変化しており、

個別避難計画作成の際、分散避難も含めた検討が必要だ。

質問

今年、熱海市で発生した土石流が原因で盛土問題の災害があったが、町民の意識は変わったか。

答弁

吉田町長

町の宅地造成ではその様な盛土の造成は記憶にない。災害に対する意識はかなり変わった。

質問

約40年前に造成された地区があり、前々から水害の相談を受けているが、大雨でなくとも水が常に湧き出して、冬になるとその部分が凍って滑りそうになる。造成された当時に、1回だけ町営住宅の裏が崩れたと聞いている。主に切土の造成区域であり、最近の大雨で、水路の氾濫があり住宅が数軒あるが浸水の一手手前だった。調査・点検を行い住民への安心確保をお願いしたいが。

答弁

吉田町長

これは丸山行政区の話で旧船岡町の時、切土造成と伺っている。現地確認をして検討をしたい。



▲ 7月の豪雨災害(トスク船岡店裏の道)



栄田 秀之 議員

決算は議会の 議決事項

令和2年度の財政は健全なのか

町長/ 基本的には良好だ

質問

決算は、会計年度一年間の執行実績を表示した計算表、その活動の実績である。これにより、行政運営の適否が診断される。次の予算編成や行政執行に当たっての指針となる。

- ① 決算における経常収支比率、財政力指数、自主財源比率の前年対比は。
- ② 人件費、扶助費の前年対比は。
- ③ 町税の徴収率及び徴収体制は。
- ④ 補助金等の前年対比及び事業の妥当性、有効性、効率性の評価は。
- ⑤ 経常収支比率における、内訳としての人件費、扶助費、公債費の割合は。

答弁

吉田町長

- ① 経常収支比率は、92.6%で3.9ポイント増加した。財政力指数は、0.233で0.004ポイント上昇した。自主財源比率は、18.3%で5.5ポイント減だ。
- ② 人件費は会計年度任用制度により4億6,000万

円増加、扶助費は7,200万円増加した。

- ③ 町税の徴収率は99.18%で0.04%低下、体制は職員3人と徴収員3人で徴収率を上げている。

- ④ 補助金は29億5,300万円で、新型コロナウイルス感染症対策で増加、補助事業を十分認識し検討している。有効性や効率性を見直し、次年度以降の予算につなげている。

- ⑤ 人件費5.7ポイント増、扶助費0.3ポイント減、公債費0.4ポイント減だ。

質問

普通会計歳入総額134億5千万円、自主財源18.3%の財政は健全なのか。

答弁

吉田町長

基本的には良好、気になるのは自主財源、相対的には国の交付税頼みが課題だ。

コンビニ 証明書交付

利活用の促進は

町長/感染症対策として有効

質問

マイナンバー制度は、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤で面倒な手続きが簡単になる。

- ① マイナンバーカード推進状況は。

- ② コンビニ証明書交付利用状況及び交付案内は。

- ③ コロナ禍のコンビニ交付は密を避けるのによい方法だ、利活用の促進は。

答弁

吉田町長

- ① 7月末時点で34.6%だ。
- ② 利便性の向上と新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため2月15日にスタートし、町報やHP、チラシ配布等の広報を行った。7月末で261件の実績だ。
- ③ 利便性の周知等、利用拡大を図る。コンビニ交付は感染症対策として有効だ。

質問

庁舎の窓口にはチラシやパンフレットを用意し、町民の方へ広く周知する等。コンビニ交付についても十分に利用してもらいたい。

答弁

吉田町長

窓口にはチラシやパンフレットを置くなど啓発にも努めたい。

※その他の質問
新型コロナウイルス対策について



▲ 土日OKコンビニ交付



山根張太郎 議員

東郡家地区の開発

本町の将来に係る発展の要の地域と考えるが

宅地造成するには好条件の地区だ

町長/

答弁 吉田町長
①待合室を広くすることが可能かどうかJRとの協議が必要だ。改築には財源のことが新たに出来ると考える。
駅とバス停とは、かなり距離があり一体的な施設が良いかどうか十分な検討が必要と考える。
②トイレの内と外を隔てているのはドア一枚だけであり、使用を躊躇される人もある。JRと協議し対応を検討させていただけたらと思う。

質問
①東郡家駅の待合室やトイレが老朽化している。本町の東の玄関口に相応しい新駅舎に建替え国道29号線の鳥取方面行きバス停と併設しては。
②女性のもとより、誰もが安全で安心して快適に利用出来るトイレに改善する必要があると考えるが。
③バス停が強風や雨の時など危険だ。早急な対策が必要と思われるが。

質問
①若桜谷や私都谷からの流出防止や市部からの転入促進のため、宅地造成は喫緊の課題だ。東郡家地区は利便性の高い宅地を供給出来る立地条件を備えていると考えるが。
東郡家地区の開発は、本町の将来に係る発展の要の地域と考えるが。
②高齢者が安心して暮らせる福祉の充実、安心して子育て出来る環境づくりは。
③子育て世代の支援策として保育料の完全無償化と高校生以下の通学費の全額補助をしては。

③堀越バス停待合所は強風時には雨が吹込むが、歩行者の通路確保のこともあり、ボックス型への変更は少し難しい。協議させていただきたい。

答弁 吉田町長
①東郡家地区の宅地造成は相対的に立地条件として好条件の地区として承知している。
状況を見極めながら造成支援を行い宅地供給の促進を図りたい。
総合開発的なことや東郡家地区の宅造は必要だ。民間活力のこともあり今後検討させていただきたい。
②総合計画に基づき高齢者福祉や子育て支援の充実を計画に沿って取り組む。
保育料の完全無償化は現時点では少し難しい。

答弁 薮田教育長
③高校生の通学費は7千円を超えた部分を県と町の補助金で助成している。7千円を超えない場合でも若桜鉄道を利用して生徒には2分の1を助成している。



▲ JR東郡家駅

議会の皆様へ

八頭町商工会：会長 北村大司



平素より商工会事業にご理解をいただき、感謝致しております。コロナ禍における町内事業者への悪影響は軽いものではありません。

昨年度に議決・執行いただきました「生活応援キャンペーン」事業は、町民に活気を与えていただいた妙策でありました。商工会でもウイズコロナの観点から事業者が変容を受け入れて前に進めるための企画等を積極的に行っていきたいと考えております。



2020年八頭まちゼミ

その一手となるのが、今年の十一月で三回目になります「八頭まちゼミ」です。町内の方に各々の会社に興味を持って足を運んでもらい、その企業が何を作り、何を販売しているのかを知ってもらおうという目的です。先ずは、町内産のもの・コトの循環を起こすきっかけ作りです。町外に出て行く価値を町内に留めることが重要であると考えます。

仮説・検証の繰り返しで物事は前進します。議会の皆様にはワクワクする仮説の審議を期待しております。

議会の傍聴をしてみませんか

定例会・臨時会はケーブルテレビで
生中継しています

一般質問は再放送もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

議会、議会だよりに関する意見、ご要望をお寄せください。

編集委員

委員長	矢部 啓祐
副委員長	川西 聡
委員	山根 張太郎
委員	灘口 茂郎
委員	川西 美恵子
委員	緒方 陽紀
委員	奥田のぶよ



編集風景

各議員が日頃の活動から得た課題などについて活発に質疑・質問しました。
編集は要旨を簡潔で正確に要約し、愛読者である町民の皆様に議会に関心を寄せて戴ける紙面づくりを編集委員7人で知恵を出し合いました。
愛される「議会だより」にするため、皆様のご意見・ご要望を是非お寄せ下さい。
(記：山根 張太郎)

編集後記